

平成13年度春学期 島根県立大学「21世紀・地球講座」開講科目

テーマ：私たちの今を見つめる

【歴史講座】

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
1	横田 禎昭	寧夏・黄土高原に謎のグリフィンを追って	東西文明の壮大な交流の道、それは青銅器や馬具の伝播の道でもありました。想像上の動物グリフィンの話を例にシルクロードの世界の魅力をお話します。	5月 23・30日 6月 6・13・20日 (水) 19:00~20:30

【リレー講座】

講座番号	講師名	テーマ	講義内容	開講日時
2	井上 定彦	どうなる！日本経済	またもや日本経済の雲行きが怪しくなっています。昨年の上向き経済を支えていたIT投資も落ち込みつつあり、好調を続けてきたアメリカ経済の景気後退も避けられそうにありません。短期・中期・長期の社会経済課題と島根の未来を考えます。	5/19 (土) 15:00~16:30
3	田嶋 義介	望みはあるのか日本政治	経済一流、政治三流といわれた日本が今や経済、政治とも三流に落ちました。政治が経済の足を引っ張りました。政治が変わり、望みが持てるようになるのでしょうか。	5/25 (金) 19:00~20:30
4	今岡日出紀	日米同時不況は起こるのだろうか	日本経済は長びく深刻な不況の中にありますが、これに加えて、今まで好景気にあったアメリカ経済も景気の下局面に入ってきました。日米同時不況の可能性について分析します。	6/2 (土) 19:00~20:30
5	堀内 好浩	IT革命は社会を救えるのか	IT革命のもっている本質、米国におけるIT社会の進展、わが国のIT革命の状況、経済構造改革に及ぼす影響、ITを使った国民生活の向上、企業経営に与える影響等についてお話します。	6/9 (土) 19:00~20:30
6	高橋 睦子	岐路に立つ日本の福祉社会	高齢者ケアと育児支援を中心にさまざまな生活リスクとバリアを検証・分析し、現在の社会保障の諸制度の行き詰まりを克服し、日本が福祉社会として再生するためのシナリオについて考えます。	6/16 (土) 19:00~20:30
7	小林 博	低い預金金利はいつまで続くのか	銀行の不良債権処理と赤字決算・巨大金融グループ化、低い預金金利はいつまで続くのか、ペイオフ凍結解除の影響など、最近の日本の金融をめぐる諸問題について説明します。	6/23 (土) 19:00~20:30
8	瓜生 忠久	「情報化社会」を“映像”から考える	盛んに喧伝されている『情報化』の波ですが、その中身＝特に「何が重要で、必要な情報は何か」という点は見落とされがちです。メディアとして、或いは文化として一日の長がある映像フィールドから考えます。	6/30 (土) 19:00~20:30
9	別枝 行夫	国際交流と市民	「国際化の時代」と叫ばれて久しいのですが、一方で「地方の時代」ともいいます。国対国、自治体対自治体の交流は確かに進んだように見えますが、一般市民が気軽に参加できるものでなければ交流は長続きしないことを共に考えましょう。	7/7 (土) 19:00~20:30
10	江口真理子	英語リスニングの方法	「相手の言っていることが聞き取れない」という悩みは英語学習者にとって切実です。この講座では「リスニング」がどのような行為なのか、どうすれば英語の音が聞き取れるようになるかを分かりやすく説明します。	7/14 (土) 19:00~20:30
11	末廣 泰雄	科学技術と私たちの社会	情報通信技術は産業の効率化をもたらし、快適な生活に貢献しています。それに加えて経済を牽引する力ともなっています。情報通信技術だけでなく、生命科学、ロボットなどの科学技術により、これからの私たちの生活がどのように変わっていくかを考えます。	7/19 (木) 19:00~20:30
12	Etsuko Scully	多文化教育	多文化教育はアメリカ合衆国の高等教育でもまだ新しい分野です。米国大学院教育学部での研究と経験をもとに大学教育の一部であるカリキュラムと多文化教育、特に言語について紹介します。	7/28 (土) 15:00~16:30